

患者様の理解を深めコンプライアンス向上させる為には

八王子店

○江連未奈子 井上朋子

【目的】

八王子店は消化器内科の門前にあり、患者様の半数が70歳以上です。

高齢者の方々からは不眠や便秘で悩んでいるという話をよく耳にします。しかし高齢者の方々には口頭ではお薬の働きをなかなか理解してもらいにくい、メーカーから頂いたリーフレットをお渡ししても文字が小さく字ばかりで読んで貰えていないと感じました。

患者様の中にはその薬が処方されている意図を理解していない為、自己判断で減量や服用を中止し医師には話さないなど薬物治療の妨げになっているのではないかと考えられます。

その為病気や薬に対する理解を深める事と日常生活の中でどのような事に気を付けていけば良いかをまとめ患者様に提案をしていこうと思いました。

そこで高齢の患者様に自分の病気について理解深めて頂きたいと思いリーフレットを作成することにしました。

【方法】

八王子店に来局して頂いている患者様の年齢比を調査。

10代：3%、20代：3%、30代：3%、40代：7%、50代：11%、

60代：22%、70代：30%、80代：18%、90代以上：3%。

半数以上を占める年代の方に頻りに処方される薬を調査。

これら調査を踏まえて、リーフレットを作成し交付した。

リーフレット作成時

- ・どのようにして症状が起きるのか。
- ・自分の症状がどのようなタイプなのか理解してもらう。
- ・薬物療法だけでなく生活習慣で改善出来る事の提案を記載する。

この3点に注意して作成しました。

【結果と考察】

患者様とのコミュニケーションツールとしてリーフレットを用いることで少しずつではありますが、理解を深めて行くことが出来てきたと思います。

生活習慣を改める事で改善出来る事がある事、こういった症状でなぜその薬が処方されているのか理解をしてもらう事が出来てきていると思います。

まだ始めたばかりの為目に見えた成果は出ていませんが、これからも八王子店の患者様に沿ったリーフレットを作り続けていきたいと思っています。